

Japan Handball Association



社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会

男子
 女子

試合番号 **北条-男6**

年月日 2022 年 7 月 30 日 (土)
 大会名 全国高等学校ハンドボール選手権大会(男子) 高専ハンドボール選手権大会(男子) 高体連ハンドボール選手権大会(男子)

公式記録用紙

A 神戸国際大学附属高等学校										B 県立小松工業高等学校									
愛媛県		松山市				北条スポーツセンター体育館				1回戦									
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m入-17分	A	B					
	16	13 14	32	29 30															
7m得点/総数		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数									
2/2		1	2 後	3	1	2 後	3	1/1		7m得点/総数									
2748		2457		2935		1432		2429		7m得点/総数									
No.	神戸国際					G	W	2'	D	DR	No.	小松工業							
1	大西 和真										1	端野 秀							
2	佐孝 明澄					3					2	中森 翔太							
3	林 輝樹					6					3	北村 優							
4	柴村 春輝										4	元田 文斗							
5	荒川 祐哉					3					5	北山 琉能							
6	石原 幸樹										6	金谷 琉伽							
7	水野 舜斗					5					7	升崎 兆							
8	岡本 愛斗					9					8	竹田 裕貴							
9	吉川 陽貴										9	河津 和彦							
10	澤田 悠大					2		1			10	相神 海康							
11	高橋 素晴					4					11	釜田 昊英							
13	藤生 大地										12	勝地 亮太							
14	梶原 佑一郎										13	山崎 颯太							
16	久保 大樹										14	疋田 剛己							
監督A	高橋 裕稀										監督A	中谷 昌和							
役員B	向井 勝二										役員B	江端 瑠宮							
役員C	市原 太基										役員C	ジャップ 卓海							

A **高橋 裕稀** チーム役員A署名 **中谷 昌和** B

特記事項

レフェリー	蟻川 武司	瀬良 研一	中谷 昌和	瀬良 研一
TD	平井 徳尚	多田 宣行	平井 徳尚	多田 宣行
MO				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入
 入ミスにより、点多く記載されていたことから訂正いたしました。

令和4年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会
高松宮記念杯第73回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

試合結果・戦評報告書

競技日	2022年7月30日(土)		会場	北条スポーツセンター体育館	
種別	男子		回戦	1回戦	
チーム名			チーム名		
神戸国際大学付属高等学校(兵庫)			県立小松工業高等学校(石川)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
32	16	前半	13	29	
	16	後半	16		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

小松工業高校のスローオフで試合が始まった。攻撃ミスから素早い速攻で神戸国際②佐孝が先制点を決める。試合開始から一進一退の攻防が続き、小松工業は②中森を中心に得点を重ね、神戸国際は多彩な攻撃を繰り広げる。小松工業はチームタイムアウトを取り⑧竹田らで得点を重ねるも、神戸国際はコンビネーションプレーで確実に加点し、リードを4点差に広げる。小松工業⑩釜田のシュートで神戸国際は1人退場に。その間、小松工業は③山崎が1点返すも、神戸国際の華麗なダブルスカイシュートを⑤荒川が決め、16対13で神戸国際のリードで前半を終えた。

後半立ち上がり、小松工業①G K端野の好セーブから⑩相神がサイドシュートを決めるなど、1点差に詰め寄る。点差を広げたい神戸国際も⑧岡本の速攻や、②佐孝のサイドシュートで逆転を許さない。小松工業は7m Tのピンチに⑫G K勝地がビッグセーブを見せ、ピンチを凌ぎ、1点差の攻防が続く。神戸国際①G K大西も好セーブを連発し、ゴールを許さない。26分18秒小松工業⑥金谷のロングシュートでついに同点に追い付く。神戸国際⑪高橋の3連続得点などで4点リード。小松工業最後の攻撃⑩相神がスカイシュートを決めるも、32対29で神戸国際が勝利した。両チームとも最後まで熱い試合を魅せてくれた。